資料３

各中学校「部活動運営委員会」の状況について

1　参加状況（後期）

（１）浅科中学校（10/1）
　　〇出席者　スポーツ課：大島係長、神津
（２）東中学校（10/11）
　　〇出席者　スポーツ課：大島係長、神津　文化振興課：有賀係長
（３）野沢中学校（10/18）
　　〇出席者　学校教育課：小林主幹指導主事　スポーツ課：木内課長、大島係長
（４）浅間中学校（10/18）
　　〇出席者　学校教育課：小林主幹指導主事　スポーツ課：木内課長、大島係長
　　文化振興課：中沢課長、有賀係長

2　意見等について（抜粋）

【保護者より】

・ 佐久市としての方針が策定されたとのことだが、協議会のメンバーや協議内容はどのようなものだったのか。保護者や指導者も入れて実際の状況を確認して進めてもらいたかった。
・ 剣道とバレーボールの会費内訳や金額の理由を知りたい。
・ 活動の拠点が１つになれば、移動が困難になり負担が増えることになるのではないかと思われるので、対策が必要。
・ 部活動が地域のクラブになっていく際に、既存のクラブチームとのすみわけはどうなるのか。
・ バレーボールでは東中学校と浅間中学校が合同だと思うが、レベル差がかなりある。レベルを分けて実施してもらえるのか。
・ 今のうちから、準備できること・やっておいた方が良いことがあれば教えてもらいたい。
・ 何をやってもよく、何をやったらいけないのか。ゴールが明確にならないと動けない。
・ 剣道の地域クラブ活動では１回 500 円を取ると言っているが、この内訳がよくわからない。また、指導者についても素性のわからない人から指導を受けて、コンプライアンス違反があったらどうするのか。
・ 剣道部では実際に地域移行の活動が始まっているが、保険対応がどうなっているか心配。
・ 地域クラブの指導者がどんな人がいるのかわからなくて不安なので、指導者のプロフィールや肩書がわかるようにしてもらいたい。
・ 休日の行事の日程や、テストの時期など学校ごとに違うので、参加できる子とできない子が出ないようにうまくやってもらいたい。
・ 吹奏楽では、他の競技や活動とは楽器使用の部分で異なる。また指導者がどうなるのか、人材バンクで集まるのかなど不安がある。
・ 楽器の貸し出しは続けてもらえるのか。修理も継続してやってもらえるのか。

【顧問、教員、指導者より】

・ 休日の活動を希望しない生徒が増えると、中体連の大会への参加が難しくなる。活動継続のため、近隣中学校や市を越えての連携も検討が必要。
・ 合同チームでの参加となるとチーム数が減り、リーグ戦に影響が出てくる。
・ 剣道の第０回の話が実施直前の２週間前にあり戸惑った。もっと早く周知できたのではないか。
・ 持続可能性という点で、教員は異動があり、ケガなどの状況により指導がずっと続けられるというわけではない。生徒たちが活動を続けていかれるような体制が望ましい。
・ 安定してチームを維持していくためには、松本市のように行政の方で地区ごとに合同で活動する中学校を決めて、人数が充足している場合でも合同チームとするような方法も必要かもしれない。
・ 指導者のみでは休日の練習試合の実施はできない。顧問の先生もいないと成り立たない状況である。
・ あらゆる競技は、部活動が入り口になっている。また、元々は部活だったものなので、費用負担は公平にしてもらいたい。
・ ソフトテニスの場合、市内の生徒を１か所に集めて練習するのは場所が足りなくてとても無理だと思う。７年度、8 年度で何とかしなきゃいけないなら、早く競技団体に投げかけしないと間に合わない。
・ 競技ごとにできるところから地域移行すると言っているが、余計難しくなるのでは。いつまでにどうするのかゴールをはっきり決めないと、いつまでも「過渡期だから」と言っていられないし、選手に配慮してもらいたい。また、指導者確保だけでなく、大会運営のことまで考えていかないといけない。
・ 剣道の練習場所確保はどうなるのか。学校体育館は他の競技と競合すると思われるので、県立武道館は２カ月先の予約しかできない状況だが何とかならないか。

3　課題・検討事項

様々な不安の声やご意見、疑問点が上がってきており、
【保護者】からは、
・会費や移動などの負担について
・活動場所が変わることや指導者が平日と異なることへの心配について
【顧問、教員、指導者】からは、
・生徒が継続して活動を続けられる体制について
・活動場所の確保、大会や練習試合のできる体制整備について
などのご意見を多くいただいた。
現状では検討中である質問も多く、競技・活動毎の部会の設置・話し合いの推進が必要である。